

第1学年 社会科 学習の指針[シラバス]

1. 学習の目的

【地理的分野】～私たちが生きる世界（地域や環境）について学ぶことを通して、3つの力をつける～

- (1) 地域的な特色を理解し、地理に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける。（どこに何がどのように見られるのかを理解し、また調べまとめることができる。）
- (2) 地域的な特色や相互の関連などを多面的・多角的に考えたり、課題解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力をつける。（なぜそのようなになっているのか、どうすればよいか等を様々な面から考え、考えを説明し、議論することができる。）
- (3) よりよい社会を実現できるように、日本や世界の地域についての課題を自分自身の問題として追究し解決しようとする態度を身に付ける。

【歴史的分野】～歴史の大きな流れと各時代の特色について学習することを通して、3つの力をつける～

- (1) 各時代の特色を踏まえて歴史の大きな流れを理解し、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける。（どの時代にどのような出来事や社会状況が見られるのかを理解し、また調べまとめることができる。）
- (2) 歴史的なできごとの意義、時代の特色などを多面的・多角的に考えたり、課題を公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力をつける。（なぜそのような出来事や社会状況が生まれたか、どうすればよかったか等を様々な面から考え、考えを説明し、議論することができる。）
- (3) よりよい社会を実現できるように、歴史的できごとにもみられる課題を自分自身の問題として追究し解決しようとする態度を身に付け、自国の歴史への愛情と国民としての自覚、先人ならびに文化遺産の尊重とともに、国際協調の精神を身に付ける。

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	【地理】 第1編 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	(1)緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域を大きく見て理解する。 日本の位置、世界各地との時差、日本の範囲やその変化と特色などを基に、日本の地域を大きく見て理解する。 (2)世界の地域の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考え、表現する。 日本の地域の特色を、周辺の海洋の広がりや島々の位置などに着目して多面的・多角的に考え、表現する。
	第2編 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	(1)世界の人々の生活は、自然及び社会的条件から影響を受けたり、影響を与えたりすることを理解する。 世界の人々の生活や環境の多様性を理解し、世界の主な宗教の分布について理解する。 (2)世界の人々の生活の特色やその変容の理由を、自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考え、表現する。
	【歴史】 第1章 歴史へのとびら 1 歴史をとらえる見方・考え方 第2章 古代までの日本 1 世界の古代文明と宗教のおこり 2 日本列島の誕生と大陸との交流	(1)年代の表し方や時代区分の基本的な内容を理解し、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりする技能を身に付ける。 世界の古代文明や日本列島における農耕の広まりと生活の変化、東アジアの文明の影響を受けながら国家が形成されていったことを理解する。 (2)小学校の学習を踏まえて、歴史上の人物や出来事などを取り上げ、時代区分との関わりについて考え表現する。 古代文明や宗教のおこり、農耕などの生産技術発展、東アジアとの交流と政治・文化の変化など、古代の社会の変化を多面的・多角的に考え、表現する。
2 学 期	【歴史】 第1章 歴史へのとびら 2 身近な地域の歴史 第2章 古代までの日本(続き) 3 古代国家の歩みと東アジア世界	夏休みの課題「身近な地域の歴史」 (1)地域の歴史を調べたり、調べた情報を年表や新聞にまとめたりする技能を身に付ける。 (2)地域に関する資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考え、表現する。

	【地理】 第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州	(1)世界各地で見られる地球的課題は、その地域の特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 世界各州の人々の生活を基に、各州の地域的特色を大きく見て理解する。 (2)世界各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、それらの地域的特色と関連づけて多面的・多角的に考え、表現する。
3 学 期	第3章 中世の日本 1 武士の政権と成立 2 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	(1)武家政権の成立ならびに元寇がユーラシアの変化の中で起こったこと、またその後の武家政治の展開と東アジア世界の関わりを理解する。 諸産業の発達、自治的な仕組みの成立などから、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 (2)武士の政治への進出、東アジアにおける交流、産業の発達など、中世の社会の変化を多面的・多角的に考え、表現する。

3. 評価

観 点	観点の内容（地理）	観点の内容（歴史）	評価の視点・方法
知識・技能	日本や世界の地域的特色などを理解するとともに、調査や資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができる。	日本の歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができる。	①テストの内容 ②ノートやワークシートの記述 ③単元テストの内容
思考・判断・表現	地理的事象の意味や特色、相互関連などを多面的・多角的に考えたり、課題解決にむけて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりできる。	歴史的事象の意味や文化の特色などを多面的・多角的に考えたり、歴史に見られる課題を公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりできる。	①テストの内容 ②ノートやワークシートの記述 ③授業中における表現活動（ディスカッション、プレゼン、レポート、発表など）
主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地理に関する課題について、主体的に追究、解決しようとする態度を持つことができる。	歴史に関する課題について、主体的に追究、解決しようとする態度を持つことができる。	①テストの内容 ②ノートやワークシートの記述 ③単元の見通しと振り返り内容 ④提出物（ワーク・ノート・プリントや課題レポート等） ⑤授業態度

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ① 学習用具は、教科書・資料集・地図帳・A4ノート・ワークが基本です。大事に使用しましょう。作業等で色鉛筆等を使用することがあります。
- ② 授業では、課題をよく把握し、先生の質問や指示をしっかりと聞いて作業したり考えたりしましょう。
- ③ 表現活動やレポート等で自分の考えを伝えられるように努めましょう。対話をする時と、自分（ひとり）で考える時をしっかりと区別しましょう。

(2) ノートの作り方

- ① ノートづくりや授業プリントづくりは教科担任の指示に従いましょう。
- ② 後で見返した時に自分がよくわかるように、気づいたことがあったら書きとめておくなど、工夫をしましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方（予習、復習、宿題等）

- ①予習・・・できるだけ教科書には目を通して、疑問点やわからない点を把握しておきましょう。
- ②復習・・・自分のノートを見ながら、重要語句をもう一度自分で説明してみましょう。
- ③宿題・・・長期休暇中に課題があります。提示された課題には計画的に取り組ましましょう。学期中にも必要に応じて宿題を出すことがあります。